図書館システムの更新について

1 更新の目的

図書館システムは、蔵書管理をはじめ本の貸出・返却など、図書館サービスの根幹を担うシステムであり、多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められ、時代の流れに合わせて求められる要素に対応できるよう、随時見直し・更新を行っていく必要があるものであります。現行のシステムは前回の更新から5年を経過しているとともに、サーバやクライアントパソコンに付随する基本オペレーションシステムのサポート期間が終了を迎えることから、システムの更新を行うものです。

2 事業者選定方式

現在の図書館システムは市立図書館及び学校図書館のシステムを一元化しているとともに、恵庭分館ではカードレス ICT 化を導入しております。これらの機能を含むサービス内容については、各事業者が独自のシステムを開発していることから、本市にとって最適なシステムを提供する事業者を企画・開発力等の観点からも総合的に判断するために、「恵庭市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」に基づき、企画提案を募り事業者の選定をいたしました。

3 事業内容

- (1) 対象施設 恵庭市立図書館・分館（計3施設）、小中学校13校、ブックステーション2施設
- (2) 業務内容 図書館システム及び関連機器の更新
- (3) 採用システム 図書館システム『ELCIELO』（京セラコミュニケーションシステム株式会社）

4 カードレス認証機能の変更

利用者カードを持参しなくても図書を借りることが可能なカードレス認証機能について、現在は恵庭分館でのみを導入しているところでありますが、この度のシステム更新により、これまでの「生体認証システム」から、スマートフォンの図書館利用者メニューを介して表示することができる「スマホ利用者カード」に変わり、全館で利用可能となります。また、マイナンバーカードを図書館利用者カードと同様に認証を行うことができる「マイナンバーカード連携」が可能となります。

5 今後の予定

- 7月～ 市民周知
- 8月～ 職員研修
- 9・10月～ 内部稼働・動作検証
- 12月 本稼働